

平成 28 年度(4 月～10 月)の利用状況と決算見込みについて

平成 28 年 12 月 14 日
あいの風とやま鉄道株式会社

1 概 要

(1) 利用状況

平成 28 年 4 月～10 月までの 7 か月間の利用状況の概要は、次のとおりとなっている。

- ・利用者数全体では、前年比 99.4%で若干の減少となっている。
利用者の区別では定期利用者が前年比 100.5%と増加しているのに対して、定期外利用者が 96.4%と減少している。
- ・輸送密度は前年比 99.2%で、概ね利用者数と同様の動きをしている。
- ・運賃収益は、単価の高い定期外利用者の減少率が大きいため、前年比 97.0%となっている。
- ・月別の利用数の状況では、本年度当初から前年比では減少傾向が続いていたが、10 月には利用者数が 0.3%の増加となり、今年度に入り初めて前年値を上回る数値となった。

昨年度の上半期は、北陸新幹線の乗換、あるいは金沢駅での特急乗換などによる定期外利用者の増加があったが、今年度は新幹線開業効果の減少がみられるものの、利用者数の 70%以上を占める定期利用者は利用実態に即した増便・増発により増加しており、引き続き利便性の向上に取り組んでいきたい。

(2) 決算見込み

平成 28 年 10 月末までの収支状況を基に平成 28 年度の年間決算見込みを算定してみると、収益では昨年度より運賃収益が減少するものの、貨物線使用料の増加が見込まれる。一方、費用面では修繕費や租税公課等の費用が増加するため、営業収支では 180 百万円の赤字、繰延資産の償却等を行った後の経常収支では 372 百万円の赤字となる見込み。

しかし、経営計画で見込んだ赤字額よりは少なく、今年度の経営安定基金の繰入額は、予定額を 110 百万円程度下回る 380 百万円程度になるものと思われる。

2 利用状況等

(1) 1 日当たり利用者数

平成 28 年 4 月～10 月の 1 日当たり平均利用者数は 41,763 人で、前年同期の利用者数(42,032 人)と比べると、99.4%となっている。

このうち、定期利用者は 30,759 人で前年同期の 100.5%と増加している一方、定期外利用者は 11,004 人で 96.4%となっている。

また、定期外利用者のうち IC カード利用者は前年同期を 34.2%上回っており、定期外利用者数の 15%近くを占める人数(1,641 人)となっている。

月別にみると、本年 4 月以来、すべての月で前年値を下回っていた利用者数が 10 月は 0.3%の増加に転じている。増加した原因としては、これまで減少率の高かった定期外利用者の増加したことが大きくなっている。(前年比 1.3%増)

[別紙 1・2・3 参照]

表1 平成28年度 利用状況 (4月～10月 月別)

(単位 人/日)

項 目	H28								H27	前年 同期比%		
	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分	10月分	10月まで 平均	10月まで 平均			
一日当 輸送人員	定期	通 勤	14,555	14,319	14,869	14,242	14,124	14,102	13,830	14,274	14,168	100.7%
		通 学	17,792	17,329	17,792	15,773	14,147	16,352	16,284	16,484	16,443	100.2%
		計	32,347	31,648	32,561	30,014	28,271	30,454	30,114	30,759	30,612	100.5%
	定期外	乗車券類	9,646	9,616	8,285	9,024	11,043	8,988	8,902	9,363	10,197	91.8%
		S F乗車	1,590	1,584	1,473	1,613	1,903	1,667	1,652	1,641	1,223	134.2%
		計	11,237	11,200	9,758	10,637	12,946	10,655	10,554	11,004	11,420	96.4%
合 計	43,583	42,848	42,318	40,651	41,218	41,110	40,668	41,763	42,032	99.4%		

(2) 輸送密度

今年度の同期間の輸送密度は、7,786人で前年同期比99.2%となっている。

減少率が1日当たり利用者数(99.4%)の減少率以上となっているが、これは利用者の平均利用キロ数が若干、減少したことが主な要因となっている。

表2 輸送密度 (4月～10月)

(単位 人/日)

区分	H28	H27	前年比
通勤定期	2,976	2,979	△3
通学定期	2,533	2,510	+23
定期外	2,277	2,359	△82
計	7,786	7,848	△62

※輸送密度：

1日1km当たりの平均輸送量

(3) 運賃収益の状況

平成28年4月から10月までの7か月間の運賃収入は、17億53百万円で前年同期に比べ、97.0%となっている。

内訳をみると、定期については通勤、通学の計で前年比99.7%と概ね、前年並みの額を確保しているのに対して、定期外は前年比95.0%と減少率が大きくなっている。

一人当たりの支払運賃が大きい定期外利用者数の減少率が高くなっているため、運賃収益は利用者数の減少率以上の減少額となっている。

月別の動きでは、各利用者区分とも基本的には利用者数の動きと同様の動きをしているが、10月分の利用者数の増加に伴い、運賃収入も10月は0.7%の増加となっている。

なお、今年度予算は27年度決算比97.3%としている。

[別紙4参照]

表3 運賃収益 (H28年4月～10月)

(単位 千円)

分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月分	今年度累計	前年同期	前年 同期比%		
営業 収益 (税抜)	定期	通 勤	72,331	73,348	73,194	73,647	72,441	70,197	71,033	506,191	510,361	99.2%
		通 学	42,334	42,479	42,165	38,965	33,598	38,035	39,757	277,333	275,620	100.6%
		計	114,665	115,827	115,359	112,612	106,039	108,232	110,790	783,524	785,980	99.7%
定期外	乗車券類	118,567	125,322	104,151	118,058	147,525	115,532	117,682	846,836	928,504	91.2%	
	S F乗車	16,616	17,457	15,459	17,256	20,760	17,453	17,955	122,956	92,711	132.6%	
	計	135,183	142,779	119,610	135,314	168,285	132,985	135,637	969,793	1,021,216	95.0%	
計	249,848	258,606	234,969	247,926	274,324	241,217	246,427	1,753,317	1,807,196	97.0%		

3 決算見込み

平成 28 年 10 月末までの収支状況を基に平成 28 年度の年間決算見込みを算定してみると下記のとおりとなる。

収益については、運賃収益の他すべての科目で予算値は下回るものの、不動産や構内営業関係の関連事業収入が順調に推移しているほか、今年度は線路の修繕業務等が計画どおり執行されていることを反映して貨物線使用料収入も大幅に増加すると見込まれる。

これらのことから、収益額全体では、昨年度決算を上回ると見込まれる。

費用面では、ほとんどの科目で予算値内に収まっているが、昨年度決算との比較では、修繕費が昨年度は執行体制が整わなかったため、公租公課が今年度から固定資産税の賦課を受けることとなったため、それぞれ、大幅な増加となっている。

以上の結果、営業収支では 180 百万円の赤字、繰延資産の償却等を行った後の経常収支では 372 百万円の赤字となる見込みとなっている。

このほか、特別利益収入もあるため、今年度の経営安定基金の繰入額は、予定額を 110 百万円程度下回る 380 百万円程度になるものと見込まれる。

なお、今回の決算見込みについては、今後の除雪費用の動向や、当社では安定した通年値データがないこと等から、変動する可能性があることをご理解願いたい。

平成 28 年度 決算見込み

(単位 千円)

科目	H28			H27	
	予算	決算見込み	差引	決算	対前年比
運賃	2,907,000	2,888,000	-19,000	2,988,052	-3.3
関連事業	225,142	205,300	-19,842	200,876	2.2
貨物線使用料	2,035,000	1,950,000	-85,000	1,769,537	10.2
清算収入	931,683	763,400	-168,283	737,004	3.6
その他	10,300	5,000	-5,300	9,079	-44.9
【収益】	6,109,125	5,811,700	-297,425	5,704,548	1.9
人件費	2,128,777	2,090,500	-38,277	2,107,752	-0.8
動力費	395,000	239,430	-155,570	240,886	-0.6
業務費	944,620	674,460	-270,160	838,369	-19.6
清算費用	641,933	701,100	59,167	716,690	-2.2
修繕費	2,085,835	2,085,000	-835	1,430,112	45.8
減価償却費	45,000	45,000		37,607	19.7
租税公課	136,000	157,000	21,000	25,390	518.4
【販売費及び一般管理費】	6,377,165	5,992,490	-384,675	5,396,806	11.0
【営業利益】	-268,040	-180,790	87,250	307,742	-158.7
(営業外収益)	0	0		5,172	-100.0
創立費償却	2,123	2,123	0	2,123	0.0
開業費償却	188,997	188,997		188,997	0.0
その他	0	0		409	-100.0
(営業外費用)	191,120	191,120	0	191,529	-0.2
【経常利益】	-459,160	-371,910	87,250	121,385	-406.4
補助金(基金)	489,000	380,000	-109,000	4,080	9213.7
その他補助・工事負担金	3,644,050	3,258,000	-386,050	1,012,280	221.8
雑利益	0	19,000	19,000	49,765	-61.8
【特別利益】	4,133,050	3,657,000	-476,050	1,066,125	243.0
【特別損失】(圧縮等)	3,644,050	3,258,000	-386,050	1,037,158	214.1
【税引前当期利益】	29,840	27,090	-2,750	150,352	-82.0
法人税	22,310	20,000	-2,310	80,113	-75.0
【当期純利益】	7,530	7,090	-440	70,239	-89.9

(平成 28 年 11 月 30 日作成)